

アルバ - トに思いを向け、アルバ - トに心に向ければ私のこの心が広がっていきます。私の心にある宇宙が広がっていきます。どんどんどんどん広がっていきます。そしてその先に田池留吉、田池陽子がいました。私を待って待っていてくれるそんな思いを感じました。心がぴったりと寄り添っている喜びが待っていてくれていました。アルバ - ト、私はあなたとともに4次元へ歩いていく意識、そしてそのもっと先も私の心で感じられました。もうアルバ - トはありませんでした。私は喜び、喜び、喜びの意識であることをこの心で感じさせてもらいました。肉の私がどれほどちっぽけで、取るに足らないものである、いいえもうそんなことすらどうでもいいような思いでした。私は意識、ただそのことがこの心ではっきりと感じられました。そして喜びの思いしかない、私の心の中は喜びで溢れている、そう思いました。